

神奈川県の学童保育

連日の猛暑、それでも子供たちの笑顔であふれているのが夏の学童保育です。私の学童では、キャンプなどの夏休みならではの行事に加え、子どもたちと平和について考えることも毎年の大切な取り組みの一つにして来ています。特に今年は、安保法案が強引に進められようとしているため、「先生、戦争はしないよね?」と不安そうに聞いてくる子どもたちに、「戦争は絶対しないよ!」ときっぱり答えてあげられるよう、今まで以上に平和について考えさせられる暑い夏休みになっています。(横浜市みつばち学童クラブ指導員 中山光枝)

神奈川県学童保育連絡協議会第40回定期総会を開催

去る2015年6月21日、横浜市社会福祉センターにて第40回定期総会を開催しました。県内の地域学童保育連絡協議会が参加し、活動報告、活動方針、決算、予算などについて提案と活発な討論がなされました。県内の学童保育は2014年5月1日で858か所、入所児童数は39,159人となり増え続けていること、2015年4月より新制度の本格実施が始まった等の新しい前進は、連絡協議会に結集して運動し続けてきたことの成果であることなどをみんなで確認しました。

また、県連協財政の検討の中で、方策を考えるべきという意見や、「日本の学童ほいく」誌の目標数値の見直しに関する発言もありました。

さらに、活動方針に指導員部会が正式に位置づけられ、指導員より指導員部会のこれまでの活動が報告され、参加者に共有されました。

今後、すべての指導員が支援員としての認定資格研修を受けられるよう、県・市町村に働きかけを強める必要があります。そのためにも県連協の活動を強め、仲間の輪を広げていこうということで午前中に総会議事を終えました。

午後は地域交流を行い、地域からの補助金要綱を掲載した県連協作成の資料をもとに地域の状況や運動方向について意見交流しました。県連協総会は2015年度役員として以下の12名を承認しました。

会長：小神長次

副会長：内海洋子、岡崎進、木村美登里、中山光江、
松浦こずえ、山崎善明(事務局次長兼務)

財政局長：石井治

事務局長：河野眞明

事務局次長：池谷潤、小関富美江(副会長兼務)

監査役：上崎 輝夫

第40回全国指導員学校南関東会場 千葉県にて開催されました

6月28日(日)東海大学付属望洋高等学校(千葉県市原市)にて「第40回全国学童保育指導員学校(南関東会場)」が開催されました。当日は全体で704名の参加者が一堂に集い、神奈川県内からも前回大会を上回る156人の参加がありました。

午前の部では基調報告に始まり、『『聴く』からはじまる子ども理解と学童保育』と題し、神戸大学名誉教授の広木克之氏による全体講義がありました。高い学力と育ちそびれた人格の落差が生み出す現代の子ども達が見せる姿への危惧、更には『親和動機と達成動機』といった現代の子ども達の心のありようを理解する考え方が多く提示され、指導員にとどまらず子育てする際のヒントにもなる多くの学びを得る事が出来ました。

午後は入門講座から実践講座、実技講座と19のテーマが設定され、学童保育理解を深める機会となりました。



広木克行氏

活動報告(6月～7月の主な活動報告)

6月4日(木) 県連協6月度運営委員会	7月2日(木) 県連協7月度運営委員会
6月18日(木) 第2回県支援員等研修 in 大和市	7月5日(日) 神奈川県指導員1日交流会 in 秦野
6月19日(金) 県連協6月度役員会	7月7日(火) 第3回支援員等研修 in 小田原市
6月21日(日) 県連協第40回定期総会	7月17日(金) 県連協7月度役員会
6月28日(日) 全国指導員学校南関東会場 in 千葉	その他県議会各会派とのヒアリングを実施しました。

♪ 地域連協だより ♪

海老名市連協より

海老名市学童保育連絡協議会は、市内の学童保育所計25か所で運営されています。

市内全ての学童保育所が民設民営で運営されていて、保護者会運営、法人運営、個人運営と形態は様々ですが、海老名の子どものために、みんなで力を合わせて市連協の活動を行っています。

まだまだ条例に則した学童保育所を運営していくためには、沢山の活動や乗り越えなければならない問題もありますが、行政との連携というキャッチボールを大切に、学童保育所の必要性そして可能性を周囲に伝えていきながら、今後も神奈川県連協と共に歩んでいきたいと思っております。

今月は海老名市、そして寒川町それぞれの地域の様子、連協で現在活動していること等々、ご紹介します。なかなか知る機会がない各地域の活動をご覧ください。

寒川連協より

寒川町の学童保育は、1986年に最初の1か所から始めて以来、保護者会の運営で行ってきました。①多額のお金の管理、②指導員の雇用、③児童の入退所・待機判定、④緊急時判断、⑤トラブル対応など、保護者会運営の限界が来ました。学童保育の運営を保護者会が、特に役員・会長がその責任を負っていました。そこで、約1年かけて話し合ってきた結果、寒川学童保育会を新たに発足させて町内5つの学童保育を一括して町から委託を受け、運営することにしました。

各学童保育の、保育の部分は今まで通り、指導員と保護者会が協力して行うこととし、保育会は事務的部分を担うことにしました。現在は任意団体ですが、2016年4月にNPO法人化をめざし準備をしています。



来月の「地域連協だより」では横浜市と三浦市を予定しています。お楽しみに！

<これからの予定>

- 9月10日(木) 第4回支援員等研修 in 藤沢「放課後児童クラブの生活とあそび」
 - 9月30日(水) 第5回支援員等研修 in 海老名「放課後児童クラブにおける安全を考える」
 - 10月4日(日) 県連協拡大運営委員会・学習会(南足柄市女性センター)
 - 11月7日(土)～8日(日) 第50回全国学童保育研究集会 in 大阪
- この他、県連協運営委員会は第1木曜日、県連協役員会は第3金曜日に定例で開催しています。
*研修等の詳細は、県連協HP(<http://kanaken.onushi.com/>)をご覧ください。